

◎ 家読リスト よもよも H27.4~9月

月	あかちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
4	 <p>『こりやまてまで』 中脇 初枝／ぶん 酒井 駒子／え 福音館書店 公園に散歩に出かけた小さな子どもが、「こりやまてまで」と様々な生き物を追いかけてます…。</p>	 <p>『たんぼほのたね とんだ』 すずき ゆりいか／ぶん ごんもり なつこ／え 福音館書店 「おひさま ぼかぼか たんぼほ さいた」わたげになって、どこまでもとんでゆく。そして…。</p>	 <p>よしおくんは牛乳瓶をたおしてしまった。こぼれた牛乳は勢を増してあちこちを飛び回り、よしおくんはあつという間に家の外に流されてしまい…。</p>
	 <p>『おでかけしようか』 大阪YWCA千里子ども図書室・さく 福音館書店・刊 ぼうしにリュック、すいとう持って、パケツにくまでとジャベルをいれて、さあ、おでかけしようか！お外遊びが楽しくなるこの季節にピッタリの1冊です。</p>	 <p>『ぎーこん ぎーこん』 とよたかずひこ・さく 岩崎書店・刊 おひさまぼかぼか、いい天気！おとうさんと一緒に公園のブランコに乗った白くまちゃん。「あのね あのね…」おとうさんにいろんなお話をしています。♪ぎーこん、ぎーこん あらら？心地よいリズムに白くまちゃんは、いつの間にかこっくりこっくり…。</p>	 <p>『ぐりとぐらのえんそく』 中川李枝子・作 山脇百合子・絵 福音館書店・刊 のねずみのぐりとぐら。今日は仲良くえんそくです。歌を歌いながら林を通り抜け、野原へ行きました。お屋になるまでの間、マラソンをしているとふたりは足に毛糸がからまり、ころんでしまいました。その毛糸のさきには…？！</p>
6	 <p>『あめぼったん』 ひろかわ さえこ／著 アリス館 あめあめぼったん、あめぼったん。はつぱのうえに、あめぼったん。雨の好きな生き物たちと、じゃぶじゃぶ歩いていい気持ち。</p>	 <p>『あめふりさんぽ』 えがしら みちこ／作 講談社 雨の日。女の子はお気に入りのかさを持って、長靴をはいて、かっぱを着てお出かけします。かたつむりさんや、あじさいさんたちが困っているのを見た女の子は…。</p>	 <p>『ちいさなきいろいかさ』 森 比左志／作 西巻茅子／絵 金の星社 なつちゃんはかさを持ってお出かけしました。雨がふってきたので、うさぎさんをかさに入れてあげました。次はりすさん、その次はだっくすくん。入れないかなと思ったら、かさが広がって…。</p>
	 <p>『じゃあじゃあ びりびり』 まついのりこ／さく 偕成社 「じどうしゃ ぶーぶーぶー」「みず じゃあじゃあじゃあ」ははっきりとした色使いの絵と、わかりやすい言葉で音が表現されている赤ちゃん絵本の決定版です。厚紙でできているので、赤ちゃんが破きにくく丈夫です。</p>	 <p>『きんぎょが にげた』 五味太郎／さく 福音館書店 「きんぎょがにげた」「どこににげた？」金魚鉢から逃げだしたきんぎょを探して、カラフルでとびっきり楽しい絵本の世界へと誘われます。最後はた〜くさんのきんぎょ！！さあ、いっしょにさがしましょう♪</p>	 <p>『おほしさま かいいて！』 エリック・カール／さく 偕成社 「おほしさま かいいて！」えかきはほしをかきました。そして、おひさまや木や動物と、たくさんのかいていき、さいごにまたほしをかき、一緒に夜空を旅しました。エリック・カールの鮮やかな絵がきれいな、夢のある星のえほんです。</p>
8	 <p>『らっこちゃん』 MAYA MAXX／さく 福音館書店 らっこちゃん、すいすい。らっこちゃん、ぶかぶか。らっこちゃん、くるくる。ひろ〜い海をゆらゆらしながら、過ごしているらっこちゃん♪天真爛漫なその姿に親子で癒される絵本です。</p>	 <p>『こぐまちゃんのみずあそび』 わかやまけん／さく こぐま社 あつ〜い夏。おはなにみずをあげるこぐまちゃん。きんぎょさんに、ありさんにも…！そこに、しろくまちゃんがホースをもってきて、お水のかけっこが始まったよ！かわをつくて、はつぱのポート流して、最後はシャワーで、あ〜スッキリ！！</p>	 <p>『かとりせんこう』 田島征三／さく 福音館書店 かとりせんこうのけむりがももん…。蚊がぼとん、お花がぼとん、おじさんのおひげがぼとん。けむりがももんんと窓から出ていくと、洗濯物がぼとん、看板がぼとん、幽霊がぼとん、魔女がぼとん。あらあら、どんどん落ちてきた？！</p>
	 <p>『びかびかびかっ』 まついのりこ／さく 偕成社 まるちゃんは不思議な星を持っています。小さな声で「びかっ」と言うと、すこし光り、大きな声で「びかっ」と言うと…。</p>	 <p>『まんまる おつきさん』 ねじめ 正一／作 さいとう しのぶ／絵 偕成社 まんまるお月さんって、黄色くて丸くておいしそう。おせんべいメロンパン……。お月さんって、つぎつぎに大好きな食べ物に見えるから不思議だね！</p>	 <p>『あるひうちゅうで』 きたむらさとし／作 金の星社 「あるひ うちゅうで まいごになった あちこちうろろ するうちに きみょうな ほしに にくわした」その星で、友達になった子にいろいろ案内してもらった。</p>

◎ 家読リスト よもよもH27.10月～H28.3月

月	あかちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
10	<p>『がちゃがちゃ どんどん』 元永定正／さく 福音館書店</p> <p>がちゃがちゃ どんどん かーん かーん ちんちん りんりん いろんな音が、ふしぎな絵で描かれています。 くりかえして読むと、それはまるで音楽のように リズムを感じられる、赤ちゃんが大好きな絵本で す。</p> 	<p>『14ひきのかぼちゃ』 いわむらとしお／さく 童心社</p> <p>「これはかぼちゃのたね。いのちのつぶだよ。」 と、おじいさん。 みんなで畑をつくって、たねをまき、何日もまっ ていると…ほら！めがでてきたよ！どんどんお おきくなって、大きなかぼちゃになりました。 人気シリーズの1冊です。</p> 	<p>『やさいのおなか』 きうちかつ／さく 福音館書店</p> <p>「これ なあに？」 ふしぎなふしぎな黒いか げ！？ それはみ～んな、やさいのおなか！いつも食べ てるおいしいやさい。 そのおなかは、どれももしろい形をしている ね。かげのまわりの色がヒントになってるよ！</p> 
11	<p>『でんぐり でんぐり でんぐりこ』 長野ヒデ子／作 山口マオ／絵 佼成出版社</p> <p>「でんぐりでんぐりでんぐりこ でんぐりでんぐりで んぐりこ」ねこさん、いぬさん、おすもうさんもで んぐりこ！ みなででんぐり楽しい な。</p> 	<p>『スモウマン』 中川ひろたか／文 長谷川 義史／絵 講談社</p> <p>正義のために戦うスモウマン。 助けを呼ぶ声が聞こえると「ドスコイ」かけ声 一発、大変身して空を飛ぶ。悪いやつには上手 投げでとどめをさす！</p> 	<p>『はっきよいどーん』 やまもとななこ／さく 講談社</p> <p>待ったなし！優勝決める大一番、初めて挑む明の 海。迎え撃つのは最強の横綱・武留道山-。土 俵上の力士たちを描いた迫力満点の絵本。</p> 
12	<p>『したく』 ヘレン・オクセンバリー／さく 文化出版局</p> <p>おむつをつけて下着をつけて、くつしたものはきま しょう！ あらあら、おくつをもう履くの？ シャツを着てズボンをはいて、ぼうしをかぶれ ば…。 はい、じょうずにおで かけのしたくができました！ 文字のない絵本ですが、その分おうちの ちがたいさんお話しできますよ！</p> 	<p>『クレメンタインの冬じたく』 ケイト・スポーン／さく セーラー出版</p> <p>雪のちたつく気配はまだまだ。 でも、ネコのクレメンタインは冬じたくの事で頭が 一杯！なにを着ようかしら？ シャツ、セーター、 コート、マフラー、くつしたなどひとつずつ選んで …。 さあ、あなたならどれにする？</p> 	<p>『子もものふゆじたく』 こいでやすこ／さく 福音館書店</p> <p>もうすぐ冬ですね。こももが冬支度を始めると、 とがりねずみ、やまね、かえるが「冬の間だけ、 ちょっと部屋をかしてください」といつてきました。 こももはことわってみんなをうちからおいだしまし たが…。</p> 
1	<p>『だっこだっこ だーいすき』 かみじょう ゆみこ／ぶん 100%ORANGE／え 福音館書店</p> <p>赤ちゃん猿が「だっこ だっこ だーいすき」と言っ て、次々家族に抱っこをせがみます。 最後は誰に抱っこしてもらうのかな？</p> 	<p>『じゅっぴきでござる』 エクトル・シエラ／作 高島純／絵 佼成出版社</p> <p>「さるがじゅっぴき あそんでいたでござる。 いっぴきさるそばをたべすぎ、きゅうひきで ござる。いっぴきばななをあさる。はっぴきで ござる。」どんどんさるがへっていき……。</p> 	<p>『おさるのパティシエ』 サトシン／作 中谷 靖彦／絵 小学館</p> <p>大ヒットするような商品を開発することになった、 おさるのパティシエ。でも、材料のパナナを全部 食べたり、こねたケーキの生地をかべに投げた り、失敗ばかり。ちゃんと商品はできあがるか な？</p> 
2	<p>『せんべ せんべ やけた』 こばやし えみこ／案 ましま せつこ／え こぐま社</p> <p>「せんべ せんべ 焼けた どのせんべ 焼けた」 わらべうたの懐かしい響きに乗って、ままごと遊 びが始まります。ままごとの楽しさが伝わる、わ らべうた絵本です。</p> 	<p>『おにぎり』 平山英三／ぶん 平山和子／え 福音館書店</p> <p>ごはんをたいて、てのひらに、みずをつけて し おをつけて ごはんをのせて、あつあつ。ふっ ふっ。 おにぎりができあがるまでを、写真のようなきれ いな絵で描かれています。 おにぎりが、食べたくなりますよ！</p> 	<p>『だいくとおにろく』 松居 直／再話 赤羽末吉／絵 福音館書店</p> <p>むかし、流れがはやすぎて、橋をかけられない 川があった。こまった村びとたちは、有名なだ いくに橋をかける事をたのんだ。ところが、その川 には鬼がいて、だいくに「おれが橋をかけるか ら、おまえのめだまをくれ」といつて、ふた晩で橋 をかけてしまう。だいくはどうなる？！</p> 
3	<p>『ちょうちょう ひらひら』 まど・みちお／文 にしまき かやこ／え こぐま社</p> <p>「ちょうちょう ひらひら うさちゃんにとまった うさ ちゃんが うふふ」ちょうちょうがとまってくれたら 嬉しいな。 春にぴったりの、優しい色とタッチで描かれた絵 本。</p> 	<p>『おひさま ぼかぼか』 笠野裕一／作 福音館書店</p> <p>ぼかぼか暖かい日、おばあちゃんが縁側に布団 を干しました。すると、猫がやってきて、「ふ わー」っとあくびをすると、布団の上にごろん！ おばあちゃんもつられて、「ふわー」ごろん！ 次々動物がやって来て……。</p> 	<p>『ごぞんじ！ かいけつしろずきん』 もとした いずみ／作 竹内通雅／絵 ひかりのくに</p> <p>江戸の町で子どもがけけ物に襲われる事件が 続発！ どうやら“あんこ”を狙っているようだ。そ れを孫のみどりから聞いたおばあちゃんは、ポ ンとひざを打ち、まんじゅう屋へ出かけて行っ た。</p> 

◎ 家読リスト よもよも H27.4~9月

月	ていがくねんから		中学年から		高学年から	
4		『ぶたぶたくんのおかいもの』 土方久功/さく・え 福音館書店 こぶたのぶたぶたくんは、お母さんにお買いものをたのまれました。はじめはパンやさん、次はやおやさん、最後におかしやさんに行って好きなものを買っていいことになりました。さあ出発です！		『ほらぶき男爵の冒険』 G.A.ビュルガー/編 斉藤洋/文 偕成社 私は、ミュンヒハウゼン男爵だ。世の中には、私のことをくほらぶき男爵などとよぶ、ぶれいなやつがいるが、私の冒険があまりに不思議でおもしろいから、なかなか信じられないということなのだろう。なに？どんな冒険をしたのか、聞かせてほしいだっ？		『盗まれたおとぎ話』 イアン・ベック/作・絵 松岡ハリス佑子/訳 静山社 おとぎの国が減びそう？「シンデレラ」「ジャックと豆の木」「白雪姫」など6つのおとぎ話の結末はどうなるの？おとぎ話にふさわしい結末をつけるため、12歳の少年トムの冒険が始まる！
5		『くさはら どん』 松岡達英・さく 福音館書店・刊 町のあちこちに草はら見つけた！元氣よく歩いてみよう！“くさはら どん” 足をおろすたびに、足もとからたくさんの生き物がとびだした。草はら・林・あぜ道・河原…。どんな生き物とあえるかな？		『忍者になろう』 アフタフ・バーバン・作 いかだ社・刊 みんなはお休みの日は何してる？ゲームもいけど、友達いっぱい集まったら…忍者修行のはじまり、はじまり～。まずは室内で修業したら、お外で思いっきり忍者修業！！最後は、友達・ご近所・町の人も一緒に宝探ししよう！さあ、どんな宝をみつけるかな？		『草花とともだち』 下田智美・絵と文 偕成社・刊 ある春の朝。見渡すと色とりどりに咲いた草花がいっぱい！女の子と動物たちが、草花の名前や特徴、料理や草花あそびなどを紹介。いろいろな工夫がいっぱいの自然遊びの入門書です。
6		『三丁目の傘屋さん』 岡本小夜子/作 篠崎三朗/絵 そうえん社 古い商店街のはずれに一軒の傘屋さんがありました。毎晩おそくまで、月を見ながら傘を作る主人。そこへ、ふしぎなお客さんがやってきたのです。		『ぞろぞろ』 斉藤洋/文 高島純/絵 あかね書房 お客のこなくなったみやげもの屋が「お石さま」をおがむと、天井から傘がぞろぞろ生えて大評判に。床屋がまねをして「ぞろぞろ」をお願いすると…？他にも大胆にアレンジされた楽しい古典落語を2話収録。		『風にのってきたメアリー・ポピンズ』 P. L. トラヴァース/作 林容吉/訳 岩波書店 東風の吹く日に、こうもり傘につかまって空からやってきたメアリー・ポピンズ。パンクス家で子どもたちの世話をすることになった彼女は、子どもたちを不思議な冒険の世界へと導き…。
7		『たなばた』 君島久子・再話 初山滋 画 福音館書店 むかし天の川の東に、七人の天女がいました。天の川の西は人間の世界で、そこにひとりの牛かいが暮らしていました。淡い色の絵とやさしい言葉でつづられた「たなばた」の絵本です。発行から52年読み継がれているロングセラーの1冊です。		『七月七日はまほうの夜』 石井睦美/作 講談社 女の子のなかよし3人組が神社で出会ったおばあさんは織姫さまだった。神様との約束を守れなくなっていた織姫さまが天に帰れるよう、3人がたなばたの短冊に願いごとをします…。		『観察して楽しむ天体入門』 沼澤茂美、脇屋奈々代・著 誠文堂新光社 月と太陽、日食と月食、惑星、彗星と流星群、星座と星の観察の仕方を、たくさんの美しい写真とともに紹介。双眼鏡の選び方・望遠鏡の使い方もやさしく説明します。夏の星空をもっと楽しめる本です。
8		『ウェズレーの国』 ポール・フライシュマン/作 ケビン・ホクス/画 あすなろ書房 ウェズレーの夏休みの自由研究は、「自分だけの文明」をつくる事。自分だけの作物をそだて、自分だけの服を作り「遊び」をかんがえだし「文字」までを発明して、ついには「自分だけの文明」をつくりだした！！ウェズレーを仲間はずれにした子たちも一緒に遊ぶようになって…。		『きょうりゅうサイダー』 はしもとかおり/作 伊藤英一/絵 学習研究社 学校の友だちから「おてほんくん」とからかわれるほど真面目なヒロキ。でも、今日は一大決心をした。今日は寄り道するんだ！原っぱの古い自動販売機の前に来たヒロキが「きょうりゅうサイダー」と書かれたボタンを押した。すると…！		『遠く不思議な夏』 斉藤洋/著 偕成社 その夏だけが、ぼくの記憶の底にずっとある。夏休みに行った母の郷里の田舎。その何のへんてつもない毎日の中で、ぼくは幻とも現実ともつかない奇妙なできごとに出会う。昭和30年代を舞台につづる12の奇譚。
9		『ミスターワッフル』 デイヴィット・ヴィーズナー/さく BL出版 ねこのワッフルのところへ小さな宇宙人が乗った飛行船がやってきた。宇宙人たちはアリやテントウムシたちとともにワッフルと戦うため、不思議な言葉で作戦を練るが…。		『宇宙パイウサギ大作戦』 岡田貴久子/作 ミヤハラヨウコ/絵 理論社 宇宙のかなたから、地球にやってきた「ウサギ」。実は「かわいいぬいぐるみのウサギ」の姿で地球にもぐりこみ、侵略の情報を集めるために来たのです。地球の女の子ハルと出会い…。		『宇宙の孤独』 赤木 かんこ/編 ポプラ社 SF(空想科学小説)の世界へようこそ！手塚治虫「安達が原」、フレドリック・ブラウン「緑の地球」など、スペース・ホラーに関するSF5編を収録。

◎ 家読リスト よもよも H27.10月～H28.3月

月	ていがくねんから		中学年から		高学年から	
10		『かぼちゃものがたり』 真珠まりこ／作 学習研究社 むかしむかし、とつてもまずしい村の男の人が、かぼちゃの種を見つけた。そのたねからできたかぼちゃはすくすくそだち、おいしいスープができました。 また、種をまき、できたかぼちゃで、こんどはロウソクたてや、おなべやおふろ、そしてお家までできて…		『かぼちゃ人類学入門』 川原田徹／作 福音館書店 かぼちゃ島って知ってる？ 島全体がかぼちゃで出来ているんだよ！ かぼちゃ島には「かぼちゃ人」が住んでてかぼちゃ語を話して、なんとかぼちゃ島を食べて生きている！？とつても不思議なかぼちゃ島のお話。 ん？ただこの島、なんだかどこかに似てる？		『カボチャの絵本』 いとうみきお／編 ささめやゆき／絵 農文協 カボチャの事、どのくらい知ってる？ 手のひらにのる、ちいさなカボチャや、大人でも抱えきれないくらい大きなカボチャ。どこで生まれてどこから日本に来たのか…。絵本で読みやすく、そしてすごく詳しくなる一冊です。
11		『せきとり しりとり』 サトシン／作 高島那生／絵 文溪堂 「せきとり、けいこにせいをだす」 「すごいなげわざ、パッチリきまる」 「るんるんきぶんで、いいちようし」…。 閑取の1日をリズムカルにしりとりで描いた、しりとり絵本。		『ひとりずもう』 内田麟太郎／作 ささめやゆき／絵 佼成出版社 ショウの夢は、日本のリーダーになること。でも、クラスのやつらはみーんなばかばかり。人をばかにしていると、「ほちゃ、ほちゃ、ほちゃ」忍び寄る心妖怪…。		『セキタン！』 須藤靖貴／著 講談社 中3の夏、治の目の前にいきなり現れた怪しげな男。「力士になったらどうかな」という男の言葉をきっかけて、治は中卒で相撲部屋に入ることを決意する…。相撲に全てを懸ける青春記！
12		『ハリネズミかあさんのふゆじたく』 エヴァ・ピロウ／作 佐伯 愛子／訳 フレーベル館 ハリネズミかあさんは毎日大忙し。 ある日、10匹の子どもたちに冬の靴をつくってやろうと思いました。ぜんぶで20足！！ さあ、寒い冬が来るまでに、まにあうんでしょうか？		『魔女のステキな冬じたく』 あんびるやすこ／さく ポプラ社 冬がすこしずつ近づいてきたある日。ジャレットは、ハーブ魔女のトパーズが書いた「やることリスト」を発見しました。そして今までとはちよっぴり違う、特別な冬じたくをはじめて…。		『ドングリ山のやまんばあさん』 富安陽子／文 大島妙子／絵 理論社 ドングリ山に住むやまんばあさんは296歳！ヨボヨボだろって？いやいや、やまんばあさんとしたら、オリンピック選手より元気で、プロレスラーより力持ち！大人気の「やまんばあさんシリーズ」秋から冬に向かうまでの大騒動のお話だよ！
1		『うつぼざる』 もとした いずみ／文 西村繁男／絵 講談社 猿に芸をさせる猿回しを見た殿さまが、矢を入れるうつぼをそのさるの毛皮で作りたいと言い出す。断ると、殿さまが弓矢で猿回しを射ろうとする。猿回しがしかたなく、猿を殺すため杖を振り上げると……		『おサルちゃん きみに会いに来たよ』 斎藤和幸／写真と文 小学館 サルに興味を持った写真家が、長野県地獄谷へサルを見に行くと、最初は子ザルに怖がられていたけれど、今では毛づくろいしてもらえ程仲良しに。おサルのかわいい姿が沢山見られる写真絵本。		『高崎山のペンツ 最後の「ボスザル」』 江口絵理／著 ポプラ社 野生の日本猿が暮らす高崎山。一匹で敵対する群800匹を追い払う等の伝説を持つ、ボス猿ペンツを追った真実の物語。他にも「最もモテない男」ゾロや「魔性の女」リズ等魅力的な猿が沢山登場！
2		『まゆとおに』 富安陽子／文 降矢なな／絵 福音館書店 北のおやまのてっぺんの三本杉のしたに小さな家がありました。そこには、のつぽのやまんばとやまんばの娘のまゆが住んでいました。 ある日まゆは、雑木林のおくてとんでもなく大きな人に会いました。		『鬼のうで』 赤羽 末吉／文と絵 偕成社 むかし、京の都にちかい丹波の大江山に、酒呑童子という大きな鬼がいて、手下の鬼をたくさんつれ、人をくったり、さらったりしていた。それをみかねた源頼光という強いさむらいとその家来が、鬼を退治しようと、鬼の腕を斬り落としたのだが…。		『妖怪伝 巻の3 鬼』 たかしよいち／作 ポプラ社 昔、日向は雑木林でのごと。ある夜、男が山の岩場にいて、満月の光にさらされ、巨木の幹にはりつく一匹の青鬼がみえた。その背がまっすぐに割れて、中から現れたのは…。鬼をめぐる、おそろしくて不思議な物語、ほか2編。
3		『江戸の子ども ちゃんまげのひみつ』 菊池ひと美／作 偕成社 時代劇などでよく見かけるかみ型“ちゃんまげ”。江戸時代では、ちゃんまげ姿になることは、大人のあかしでもありました。 生まれてから、ちゃんまげ姿になるまでを、江戸の生活も見ながら紹介していく。		『江戸のなぞ絵 一、二、三』 岩崎均史／著 汐文社 江戸時代に作られた、目で見るとなぞ「判じ絵」を解いてみよう！は、「いろは・江戸名所」など、二は「虫・動物」など、三は「野菜・勝手道具」などを題材にした問題が沢山出題されているよ。いくつ解けるかな？		『江戸のお店屋さん』 藤川智子／作 ほるぷ出版 江戸時代のお店の外観、店内の様子、商品等をイラストでわかりやすく紹介。ぼてふり(行商人)等についても解説する。細かく描かれたイラストは、見るだけでワクワクするよ！